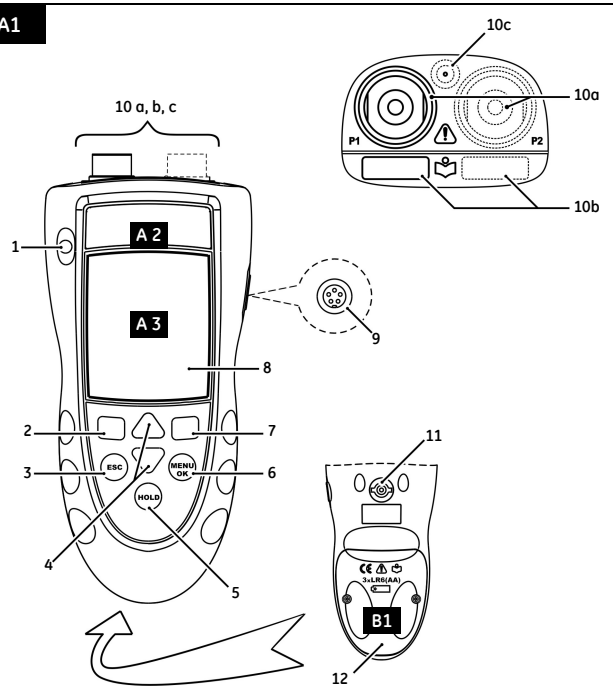
GE
Sensing

Druck DPI 800/802

圧力インジケータ / 圧力ループ校正器

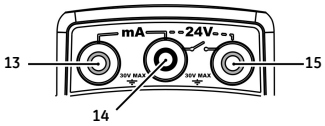
ユーザーマニュアル - K335

A1

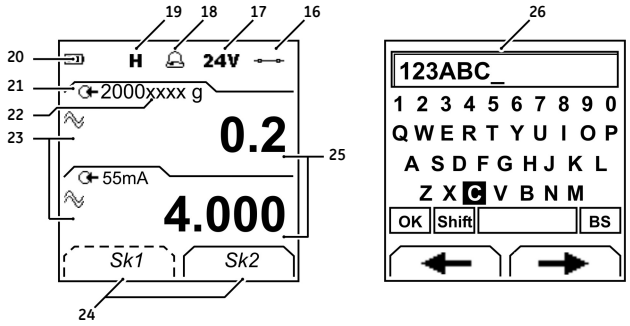


A2

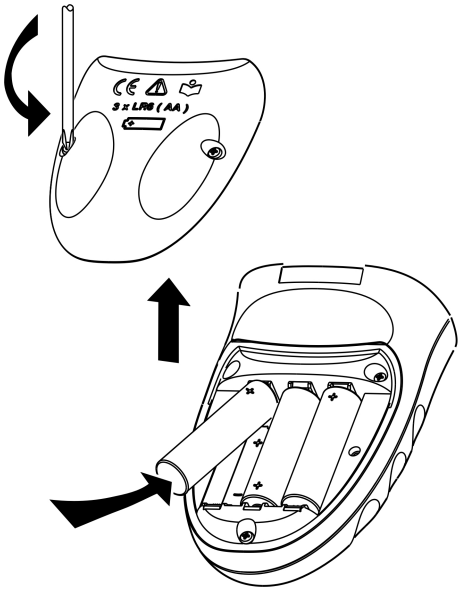
DPI 802/802P



A3



B1



目次

はじめに **1**

安全 **2**

本計器上のマークおよび記号 2

セットアップ **2**

操作部の説明 2

表示部の説明 3

計器の準備 3

電源のオン / オフ 3

基本操作のセット アップ 3

測定タスクの選択 4

設定のセット アップ 4

機能の編集 5

操作 **5**

圧力接続 5

通信ポート接続 6

圧力測定 6

リーク テスト 6

スイッチ テスト 7

トランスミッタの校正 7

電流 (mA) 測定 8

UPM 圧力測定 8

エラー表示 8

メンテナンス **9**

計器の清掃 9

バッテリの交換 9

校正 **9**

仕様 **10**

概要 10

圧力測定 10

電気コネクタ (A2) 11

カスタマーサービス ..... **バックカバー**

© 2006 GE センシングジャパン

登録商標

すべての製品名は、弊社の登録商標です。

著作権は GE センシング・ジャパン株式会社又はその関連会社に帰属しています。

この取扱説明書のどの箇所も、法律によって約束された箇所を除いて、GE センシング・ジャパン株式会社又はその関連会社の書かれた許可なしで、写真によるコピー、記録、情報の保存やシステムの修正を含めて、電気的または機械的なあらゆる手段を使っても製作する行為を禁じます。

詳細については、GE センシング・ジャパン株式会社にご連絡ください。

はじめに

DPI 800 圧力キャリブレータおよび DPI 802 圧力ループ キャリブレータは、Druck DPI 800 シリーズのポータブル圧力キャリブレータの一つです。

DPI 800 シリーズは、インテリジェントデジタル出力センサー (IDOS) 技術の採用により、各種ユニバーサル測定モジュール (UMM) とのプラグ アンド プレイ機能を提供します。例 : ユニバーサル圧力モジュール (UPM)。

DPI 800/802 には、次の機能があります。

機能	**DPI 800**	**DPI 802**
圧力測定 *	**内部** IDOS : P1 または P2**; **外部** IDOS : UPM**	
測定圧力差 ***	PI と P2 間、または PI/P2 と UPM 間の差圧 (Δ)	
リーク テスト	Yes	
通信ポート	IDOS または RS232	
言語選択	Yes	
圧力単位	25 (固定)	
スナップショット **	タイムスタンプ付きで最高 1000 枚まで表示	
電流 (mA) の測定	N/A	0 - 55 mA
HART® 抵抗器	N/A	Yes
電圧 (V) 直流出力	N/A	24 V
スイッチ テスト	N/A	Yes
その他の機能	ホールド、最大 / 最小 / 平均、フィルタ、ティア、スケール値、校正、バックライト、アラーム	

* *「仕様」を参照してください。*

** *オプション アイテム*

*** *高レンジ IDOS - 低レンジ IDOS（該当する場合）*

安全

本計器を使用する前に、すべての関連資料を読んで理解してください。関連資料の中には、現場でのすべての安全管理手順、UMM に関する指示（該当する場合）、および本書が含まれます。

警告

- **液体およびガスの混合物の中には、危険なものがあります。この中には、汚染によって生じる混合物が含まれます。計器が、必要な媒体とともに使用しても安全であることを確認してください。**
- **計器に対する許容値を無視したり、正常な状態でない計器を使用したりすることは危険です。適切な保護具を使用し、すべての安全注意事項に従ってください。**
- **危険な圧力の放出を防止するために、圧力接続を切り離す前にシステムの分離とガス抜きをしてください。**
- **爆発性のガス、蒸気、または埃のある場所で計器を使用しないでください。爆発の危険があります。**
- **DPI 802/802P 使用時。感電または計器の破損を防ぐために、端末間、あるいは端末と接地（アース）間での接続電圧は 30V 未満にしてください。**

操作あるいは本書に記載されている手順を始める前に、必要なスキルを習得してください (必要に応じて、認定研修機関発行の資格証明書をご用意ください)。常に最適な技術的手法を理解してください。

安全 - 本計器上のマークおよび記号

CE	EU 指令に準拠	⚠	警告 - マニュアルを参照
📖	マニュアルをお読みください	🔋	バッテリ
⏚	接地 (アース)	P1/P2	検出圧力コネクタを識別
⏻	オン / オフ		
MWP コネクタに対する最大使用圧力 例 : 2 x FS (FS = フルスケール圧力)			
リファレンス リファレンスポートは大気圧を導入するためのポートで、加圧目的の圧力ポートではありません。「仕様」を参照してください。			

各圧力コネクタの識別には、ねじ形式 (1/8 NPT, G1/8 ...) が含まれます。

セットアップ

セットアップ - 操作部の説明 (A1 ... A2 を参照)

アイテム		概要
1.	❍	電源オン / オフ ボタン
2.	■■	左側のソフトキーです。ディスプレイ上で、そのキーの上にある機能を選択します (アイテム 24)。 例 : 編集
3.	ESC	ひとつ前のメニューに戻ります。 メニュー オプションを中止します。 値への変更をキャンセルします。
4.	▲ ▼	値を増加または減少します。 別のアイテムを強調表示します。
5.	HOLD	ディスプレイ上のデータを保持します。操作を続けるには、HOLD ボタンをもう一度押してください。
6.	MENU OK	*Task 選択* メニューを表示します。 アイテムあるいは値を選択または確定します。 選択 [✓] または選択を解除 [ ] します。
7.	■■	右側のソフトキーです。ディスプレイ上で、そのキーの上にある機能を選択します (アイテム 24)。 例 : 設定
8.		ディスプレイです。A3 を参照してください。
9.	SENSOR/ PC	通信ポートです。ユニバーサル測定モジュール (UMM) または RS232 ケーブルを接続するために使用します。
10.	10a.	識別記号が付けられた IDOS 圧力コネクタです。「安全」を参照してください。
	10b.	関連する IDOS 圧力コネクタ (P1/P2) に対する圧力レンジを識別するために次のようにラベル表示します。シールドゲージ (sg)、ゲージ (g), 絶対 (a)
	10c.	PTFE ベントフィルタまたはリファレンス ポート コネクタ「仕様」を参照してください。
11.		オプションのアクセサリ用の接続ポイントです。データシートを参照してください。
12.		バッテリ収納部です。B1 を参照してください。
13., 14., 15.		DPI 802/802P 使用時。電流の測定、24V ソース電圧の供給、およびスイッチ テストを行う端末です。

セットアップ- 表示部の説明（ A3 *を参照）*

アイテム	概要
16.	DPI 802/802P 使用時。スイッチ テストのためのタスク表示です。 = スイッチが閉じている状態　= スイッチが開いている状態 リーク テスト用のタスク表示です。 *参照 : Task 選択 (表 2/3)*
17. 24V	DPI 802/802P 使用時。ループ電源装置がオンになっています。 *参照 : Task 選択 (表 2/3)*
18.	測定値は、アラーム状態のひとつを満たしています。*参照: 設定 (表 4)*
19. H	ディスプレイ上のデータが、保持されている状態です。操作を続けるには、**HOLD** ボタンをもう一度押してください。
20.	バッテリ残量を表示します : 0 ～ 100%
21.	データタイプと測定レンジを識別します。 = 入力　= IDOS 入力 *参照 : Task 選択 (表 2/3)*
22. 23 まで	入力に適用された設定を識別します。 *参照 : 設定 (表 4)*
22. xxxx g	ユニットとセンサー タイプです該当する場合。または、特定のスケール (x:y) です。
23.	測定した値に適用される設定を表示します (該当する場合)。 = フィルタ　= 最大 = 平均 T = ティア　= 最小
24.	ソフトキー機能。利用可能な機能を選択するには、その機能の下のソフトキーを押します。例 : = 左に移動　= 右に移動
25.	タスクの選択に適用可能な、測定した 1 つまたは複数の値です。
26.	*編集*表示でテキスト ラベル (≤ 6 文字) をセットアップします。*x:y スケーリング* (表 4). **OK** = 新しいテキスト ラベルを受け入れます。 **Shift** = キーを変更します : 123ABC または -_+abc = スペースを追加します。 **BS** = バックスペース文字を削除です。

セットアップ- 計器の準備

初めて本計器を使用する際は、使用の前に :

- 計器に損傷がないこと、および部品が欠けていないことを確認します。
- ディスプレイを保護しているプラスチック フィルムを取り除きます。右上の隅にあるタグ (◗) を使用します。
- バッテリを取り付けます (B1 を参照)。次に、カバーを再び取り付けます。

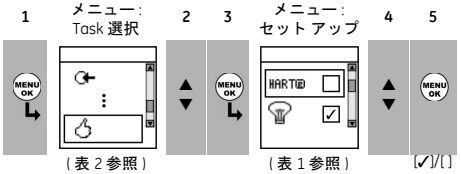
セットアップ- 電源のオン / オフ

本計器の電源をオンまたはオフにするには、❍（A1 - アイテム 1）を押します。本計器は自己診断を行った後に、該当するデータを表示します。

電源をオフにすると、最後に設定した構成オプションがメモリに残ります。「メンテナンス」を参照してください。

セットアップ- 基本操作のセット アップ

*セット アップ*メニューを使用して、本計器の基本操作をセット アップします。



メニュー オプションへの追加データがある場合は、*設定* (■■) を選択して、セット アップした値を確認します。必要に応じて、値を調節します。

表 1 : メニュー オプション - セット アップ

オプション (該当する場合)	概要
HART®	DPI 802/802P 使用時。直列抵抗器を mA 回路に追加します。これにより、本機器と HART® コミュニケータを同時に使用して、HART® デバイスをセット アップおよび校正します。
	「バックライト機能 + タイマー」を選択およびセット アップします。 *追加データ : 設定* (■■) を選択します。
O/I	「電源オフ機能 + タイマー」を選択およびセット アップします。 *追加データ : 設定* (■■) を選択します。
	バッテリ残量 (%) を表示します。
	ディスプレイのコントラスト (%) を表示します。▲ % を上げる、▼ % を下げる。
	「時間 + 日付」を設定します。校正機能は日付を使用して、サービスおよび校正のメッセージを表示します。
	言語オプションを設定します。
	本計器を校正します。 *追加データ : 「校正」* を参照してください。
	該当するステータス データを選択および表示します（ソフトウェア作成、校正期限、シリアル ナンバー、IDOS 情報）。

セットアップ- 測定タスクの選択

本計器をセット アップしたら (表 1)、*Task 選択* メニューを使用して、適用可能なタスクを選択します。

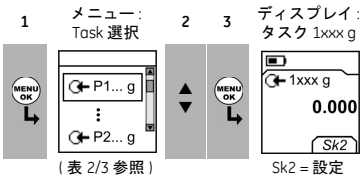


表 2/3 では、P1 と P2 は内部センサーで、IDOS はユニバーサル測定モジュール (UMM) です。UMM を通信ポート (A1 - アイテム 9) に取り付けると、*Task 選択*メニューに利用可能な IDOS オプションが表示されます。

表 2 : メニュー オプション - Task 選択

オプション (該当する場合)	**概要** (* オプション アイテム)
P...	入力測定タスク (P1, P2*) です。タスクには、センサーの検出圧力が含まれます。
ΔP...	P1 と P2*, または P1/P2* と UPM* の間の圧力差 (Δ) を測定するための入力測定タスクです。 ΔP = 高レンジ IDOS - 低レンジ IDOS
mA	DPI 802/802P 使用時。mA 測定タスク
mA(24V)	DPI 802/802P 使用時。「mA 測定タスク + ループ電源装置」がオンの状態です。
	DPI 802/802P 使用時。スイッチ テスト
IDOS	IDOS UMM 使用時。IDOS UMM による測定
	圧力オプション使用時。リークテスト
	本計器の動作方法をセット アップするためのものです。 *追加データ : 参照 : セット アップ* (表 1).

表 3 には、利用可能な一つおよび二つの機能操作がすべて表示されます。UMM を取り付けると、IDOS を含むオプションのみを使用できます。

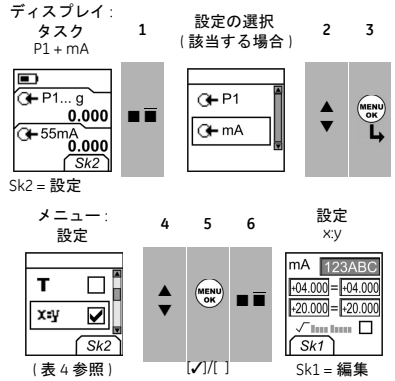
表 3 : 可能な 1 つおよび 2 つの機能操作

機能		**P1**	**P2**	**ΔP... (表 2)**	**IDOS**
		(1)	(1)	(1)	(1)
mA	(1)	(2)	(2)	(2)	(2)
mA(24V)	(1)	(2)	(2)	(2)	(2)
	×	(2)	(2)	(2)	(2)
	×	(2)	(2)	×	(2)
IDOS	(1)	(2)	(2)	×	×
P2	(1)	(2)	×	×	(2)

= DPI 802/802P 使用時。

セットアップ- 設定のセット アップ

タスクをセット アップしたら (表 2/3)、*設定* メニューを使用して測定操作を調整します。



メニュー オプションへの追加データがある場合は、*設定* (■■) を選択して、セット アップした値を確認します。必要に応じて、値を調節します。「編集機能」を参照してください。

表 4 : (表部分) メニュー オプション - 設定

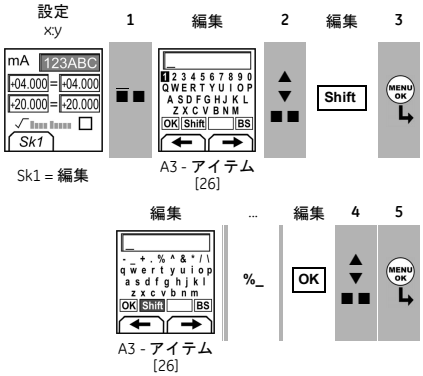
オプション (該当する場合)	**概要**
... 単位	測定単位 (Pa, mbar ...) のうちから一つを選択してください。
0.0	異なった操作 (P1、P2、IDOS) を使用するセンサーあ るいはゲージ センサーです。ゼロ補正を行うと、局部圧力で本計器の読み込みをゼロにします。
▲▼	測定タスクの最大、最小、および平均の値を取り込むためのものです。
T	測定タスクのティア値を選択およびセット アップするためのものです (特定の値またはディスプレイに表示されている値)。 本計器は正のティア値を減じ、負のティア値を加えます。 *追加データ : 設定* (■■) を選択します。
x:y	スケール値を選択およびセット アップします。各測定タスク最大 5 に対して一つのローカル スケールです。 *追加データ (例 1/2): 設定* (■■) を選択します。

表 4: (表部分) メニュー オプション - 設定

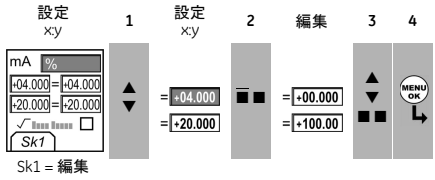
オプション (該当する場合)	**概要**
	測定タスクで出力に与えられるフィルタ値の選択およびセット アップを行うためのものです。 フル スケール (FS) の % で表示される帯域です。フィルタにより、それぞれの新しい値が既存の値と対照されます。新しい値が帯域の外側にある場合、フィルタを通りません。 ローパス フィルタ時定数秒値を増加して、減衰係数を増加します。 *追加データ : 設定* (■■) を選択します。
	測定タスクのアラーム値を選択およびセットアップするためのものです (最大および最小)。 *追加データ : 設定* (■■) を選択します。
	リーク テスト使用時。リーク テストの適用期間を設定します (時 : 分 : 秒)。

セットアップ - 機能の編集

例 1) *x:y 用のラベルをセットアップします。*
「スケーリング = %」です。



例 2) *x:y に対する値をセットアップします。*
「スケーリング = 0 ～ 100%」です。



✓ = *フロー・スケール* (mA, 圧力使用時)

操作

このセクションでは、本計器の接続方法および使用方法について説明します。ここから先に進む前に、

- 安全 セクションを読んで理解してください。
- 故障している計器を使用しないでください。

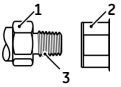
操作 - 圧力接続

注意 : 故障を防ぐために、本計器の本体にトルクを与えないでください。できれば、圧力コネクタ上の平らな面を使用して、本計器を正しい位置に置いてください。

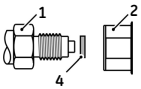
圧力接続の密封には規定の手法を使用し、適切なトルクまでしっかりと締めます (図 1 および 表 5)。

注記 : 本計器に G1/8 接続を使用する場合、および圧力が ≥10 MPa（100bar）の場合、接続方法 (b) を必ず行ってください。

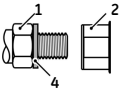
a) 1/8 NPT 接続



b) G1/8 接続 : 圧力 ≥ 10 MPa (100 bar)



c) G1/8 接続 : 圧力 < 10 MPa (100 bar)



d) M5 または 10-32 UNF 接続 : 「表 6」を参照してください。

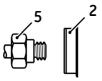


図 1 : 接続方法

表 5 : 図 1 の説明

アイテム	**概要**
1	プレシャーポートコネクタ。締付け最大トルク 1/8 NPT: 35 Nm G1/8: 25 Nm
2	規定の計器圧力コネクタ (表 6)
3	(1/8 NPT 使用時) 規定のシールテープ付きのネジ山
4	(G1/8 使用時) 規定のシール
5	リファレンス ポート コネクタ : M5 または 10-32 UNF (表 6) 締付け最大トルク 2 Nm

操作 - 通信ポート接続

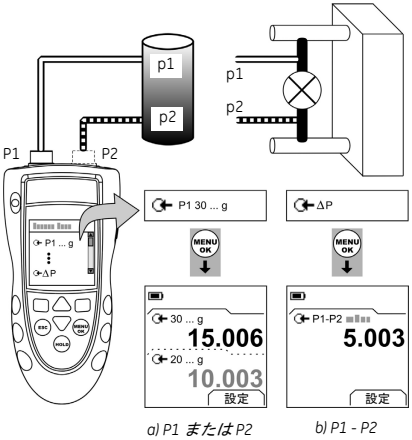
通信ポート（A1 - アイテム 9）を使用して、IDOS ユニバーサル測定モジュール (UMM) を取り付けます。

UMM (図 8) からのケーブルを取り付けると、該当するすべてのオプション (表 2/3) を表示するために、計器は自動的にメニューを変更します。

操作 - 圧力測定

圧力または差圧 IDOS 圧力レンジが二つある場合を測定するためのものです。

1. 本計器を接続し (図 2)、必要に応じて *セット アップ* (表 1) を調整します。
2. *Task 選択* (表 2/3) から適用可能な圧力タスクを選択し、必要に応じて *設定* (表 4) を調整します。
3. 必要に応じて、ゼロ補正 (表 4) を行います。
4. 本計器の接続を切断する前に、システムの分離と押気を行ってください。



a) P1 または P2　　*b) P1 - P2*

図 2 : 構成例 - 圧力測定

図 2 の例には次のものが示されています。

- システムの一箇所または二箇所の圧力を測定する方法。
- 圧力差を測定する方法。

注記 : ΔP = 高レンジ IDOS - 低レンジ IDOS 圧力 (p2) > 圧力 (p1) の場合、結果はマイナス (負圧) にとなります。

操作 - リーク テスト

圧力システムでリーク テストを行うには、

1. 本計器を接続し (図 3)、必要に応じて *セット アップ* (表 1) を調整します。
2. *Task 選択* (表 2/3) から適用可能なリークテストを選択し、必要に応じて *設定* (表 4) を調整します。
3. リーク テスト (表 4) の期間を設定します。
4. 必要に応じて、ゼロ補正 (表 4) を行います。
5. リーク テストを開始するには、スタート (■■) を選択します。テストが終了すると、本計器は適切な単位 / 分でリーク レートを計算します。
6. 本計器の接続を切断する前に、システムの分離と押気を行ってください。

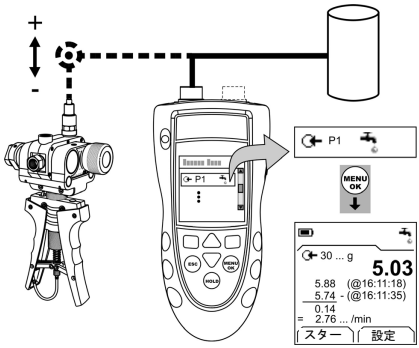


図 3 : 構成例 - リーク テスト

操作 - スイッチ テスト

DPI 802/802P 使用時。圧力スイッチでテストを行うには、

1. 本計器を接続し (図 4)、必要に応じて *セット アップ* (表 1) を調整します。
2. *Task 選択* (表 2/3) から適用可能なスイッチテストを選択し、必要に応じて *設定* (表 4) を調整します。ディスプレイの右 - 上の隅にスイッチの状態 (開または閉) が表示されます。
3. 必要に応じて、ゼロ補正 (表 4) を行います。
4. スイッチの状態が変わるまで (開または閉)、圧力をシステムにゆっくりと加えてください。
5. 再びスイッチの状態が変わるまで、圧力をゆっくりと解放してください。ディスプレイに圧力値が表示され、スイッチが開いたり閉じたりします。
6. テストをもう一度行うには、**ESC** を押して値をリセットします。
7. 本計器の接続を切断する前に、システムの分離と押気を行ってください。

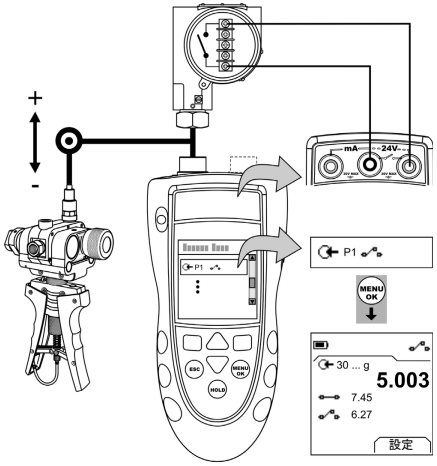


図 4 : 構成例 - スイッチ テスト

操作 - トランスミッタの校正

DPI 802/802P 使用時。トランスミッタを校正するには、

1. 本計器を接続し (図 5 または 図 6)、必要に応じて *セット アップ* (表 1) を調整します。
2. *Task 選択* (表 2/3) から適用可能な校正タスクを選択し、必要に応じて *設定* (表 4) を調整します。
3. 必要に応じて、ゼロ補正 (表 4) を行います。
4. 各校正ポイントに対して適用可能な圧力を加え、圧力システムが安定するまで待ちます。
5. 本計器の接続を切断する前に、システムの分離と押気を行ってください。

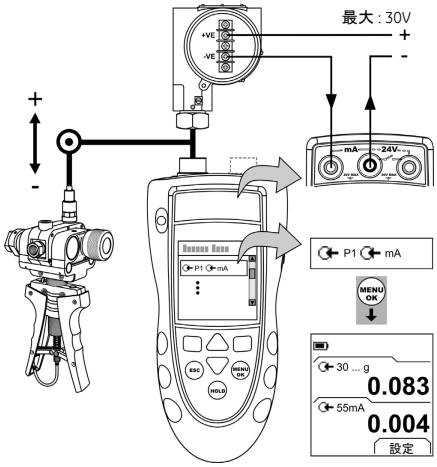


図 5 : 構成例—外部ループ電源を使用するトランスミッタ校正

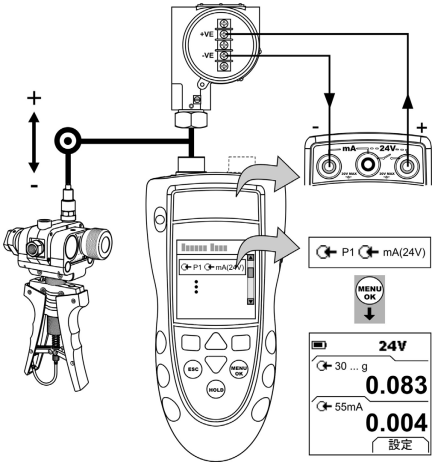
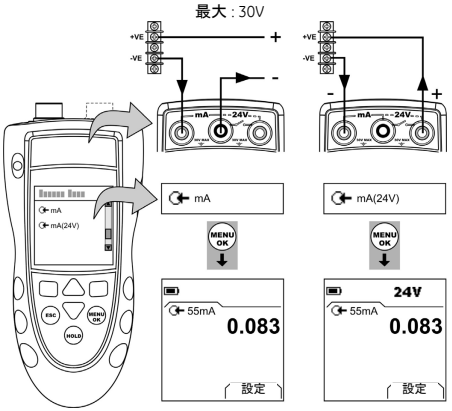


図 6 : 構成例 - 内部ループ電源を使用したトランスミッタの校正

操作 - 電流(mA) 測定

DPI 802/802P 使用時。電流を測定するには、

1. 本計器を接続し (図 7)、必要に応じて *セット アップ* (表 1) を調整します。
2. *Task 選択* (表 2/3) から適用可能な mA タスクを選択し、必要に応じて *設定* (表 4) を調整します。

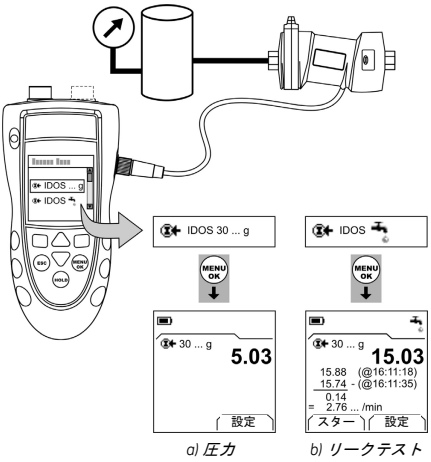


a) 外部ループ電源を使用　*b) 内部ループ電源を使用*

図 7 : 構成例 - mA 測定

操作 - UPM 圧力測定

UPM に付属している指示をすべて読んでから、指定された手順で接続してください (図 8)。



a) 圧力　*b) リークテスト*

図 8 : 構成例 - UPM を使用した圧力測定

接続が完了したら、必要な IDOS の選択をしてください (表 2/3)。その後、P1/P2 接続に対しても、指定されたように同様の手順で行ってください。

UPM を再度取付けた場合は、計器は、以前と同じ測定ユニットを使用します。計器は、以前使用したモジュールを最後の 10 個まで記録します。

操作 - エラー表示

ディスプレイに <<<< または >>>> が表示される場合 :

- レンジが正確であるか確認します。
- すべての関連装置と接続が使用可能な状態であるか確認します。

メンテナンス

このセクションでは、本計器を最適な状態に保つための手順について説明します。すべての修理については、代理店またはメーカーに返送してください。

メンテナンス - 計器の清掃

薄い洗浄剤を含ませた湿った柔らかい布で、ケースを拭いてください。溶剤または研磨剤は使用しないでください。

メンテナンス - バッテリの交換 **B1**

バッテリを交換するには、B1 を参照してください。次に、カバーを再び取り付けます。

時間と日付が正確であることを確認してください。校正機能は日付を使用して、サービスおよび校正のメッセージを表示します。

その他の校正オプションは、すべてメモリの中にあります。

校正

注記: GE は、国際基準にトレーサブルな校正サービスを提供することができます。

校正については当社までお問合せください。

仕様

精度に関するすべての記述は、1 年間の長期安定性に対する値です。

仕様 - 概要

表示言語	英語 (デフォルト)
実用温度	-10 ～ 50 ℃
保存温度	-20 ～ 70 ℃
湿度	結露しない状態で 0 ～ 90% (Def Stan 66-31, 8.6 cat III)
衝撃 / 振動	BS EN 61010:2001; Def Stan 66-31, 8.4 cat III

電磁適合性	BS EN 61326-1: 1998 + A2:2001
安全性	電気 - BS EN 61010:2001; 圧力設備指令 - クラス : サウンド エンジニアリング方式 SEP、CE マーク取得
寸法 (全長 : 幅 : 高さ)	最大 : 190 x 85 x 50 mm
重量	530 g
電源	単三アルカリ電池 x 3 本
持続時間 (測定)	P1: ≈ 50 時間 P1 + mA: ≈ 5 時間 (12 mA で 24 V のソース電圧)

仕様 - 圧力測定

標準精度および精度向上仕様の % フル スケール (FS) ステートメント は、IDOS 計器によって一定のゼロ補正を行っている場合にのみ適用できます 。

レンジ : ゲージおよび差動操作 (g/d)、シールドゲージ (sg)、絶対 (a)	**タイプ**	**標準精度 *** % FS	**精度向上仕様 †** % FS	**注記**
+/- kPa: 2.5 (+/- mbar: 25)	g/d	0.1	0.03	*1/2*
+/- kPa: 7, 20, 35, 70 (+/- mbar: 70, 200, 350, 700)	g/d	0.075	0.03	*1/2*
MPa: -0.1 ～ [0.1 または 0.2] (bar: -1 ～ [1 または 2])	g/d	0.05	0.01	*1/2*
MPa: -0.1 ～ [0.35, 0.7, 1, または 2] (bar: -1 ～ [3.5, 7, 10, または 20])	g/d	0.05	0.01	*1/3*
MPa: 3.5, 7, 10, 13.5, 20 (bar: 35, 70, 100, 135, 200)	g/d	0.05	0.01	*1/3*
kPa: 35 (mbar: 350)	a	0.1	-	*2*
MPa: 0.2 (bar: 2)	a	0.075	-	*2*
MPa: 0.7, 2 (bar: 7, 20)	a	0.075	-	*3*
MPa: 35, 70 (bar: 350, 700)	sg	0.05	-	*3*

* *0 ～ 50 ℃ での標準精度 :*
安定性 : 1 年

† *18 ~ 28 ℃での最高精度 :*
安定性 : ≤ 70 kPa (700 mbar) = 0.02 %読値 / 年
安定性 : > 70 kPa (700 mbar) = 0.01 %読値 / 年
5 ～ 45 ℃での最高精度 :
≤ 70 kPa (700 mbar): 0.075% FS
> 70 kPa (700 mbar): 0.014% FS

注記 :
1. *リファレンス ポート 媒体 : 非浸食性、乾燥ガス*
2. *+ ポート 媒体 : 非浸食性、非伝導性液体または非浸食性、乾燥ガス*
3. *+ ポート 媒体ステンレス鋼に適用可能な媒体*

表 6 : DPI 800 シリーズ圧力接続ポート

レンジ	**圧力接続** （シングル IDOS レンジ）	**圧力接続** （デュアル IDOS レンジ）
g/d: ≤ **0.2 MPa g** (2 bar g) 標準または最高	1/8 NPT 雌 (+ ポート) + 1/8 NPT 雌リファレンス ポートまたは G1/8 雌 (+ ポート) + G1/8 雌リファレンス ポート	2 つの 1/8 NPT 雌 (+ ポート) + 10-32 UNF リファレンス ポートまたは 2 つの G1/8 雌 (+ ポート) + M5 リファレンス ポート
g/d: > **0.2 MPa g** (2 bar g) 標準使用時	1/8 NPT 雌 (+ ポート) または G1/8 雌 (+ ポート)	2 つの 1/8 NPT 雌 (+ ポート) または 2 つの G1/8 雌 (+ ポート)
g/d: > **0.2 MPa g** (2 bar g) 最高使用時	1/8 NPT 雌 (+ ポート) + 10-32 UNF リファレンス ポートまたは G1/8 雌 (+ ポート) + M5 リファレンス ポート	2 つの 1/8 NPT 雌 (+ ポート) + 10-32 UNF リファレンス ポートまたは 2 つの G1/8 雌 (+ ポート) + M5 リファレンス ポート
sg または a: 全レンジ	G1/8 雌 (+ ポート) または 1/8 NPT 雌 (+ ポート)	2 つの 1/8 NPT 雌 (+ ポート) または 2 つの G1/8 雌 (+ ポート)

表 7 : 最大圧力 (+ ポート)

レンジ : g/d, sg, a	MWP	**最大の一時的 / 断続的圧力**
≤ **35 kPa** (350 mbar)	2 x FS	4 x FS
> **35 kPa** (350 mbar)	1.2 x FS	2 x FS

表 8 : 最大圧力 (リファレンス ポート)

レンジ :g/d 使用時	MWP
≤ **35 kPa** (350 mbar)	2 x FS
0.07 ～ 0.1 MPa (700 mbar ～ 1 bar)	1.2 x FS
≥ **0.2 MPa** (2 bar)	**0.2 MPa** (2 bar)

仕様 - 電気コネクタ (A2)

レンジ（測定）	0 ～ ±55 mA
精度	0.02% 読値 + 3 カウント
温度係数 -10 ～ 10 °C , 30 ～ 50 °C	0.002% FS / °C
スイッチ検出	開および閉。2 mA 電流。
ループ電源出力	24 V ± 10%
HART® 抵抗器	250 Ω (メニュー選択)
コネクタ （A2）	4 mm ソケット 3 個

カスタマーサービス

当社のウェブサイトもご覧ください：www.gesensing.com

本 社 : 〒 180-0004 東京都武蔵野市吉祥寺本町 2-4-14 メディコープビル 8
TEL: 0422-20-7123 FAX: 0422-20-7155

大阪支社 : 〒 550-0011 大阪市西区阿波座 2-1-1 大阪本町西第一生命ビル 4F
TEL: 06-6534-8701 FAX: 06-6534-8707

名古屋支社 : 〒 450-0003 名古屋市中村区名駅南 2-14-19 住友生命名古屋ビル 2F
TEL: 052-563-8701 FAX: 052-563-8706

福岡支社 : 〒 812-0039 福岡市博多区冷泉町 1-1 福岡商事ビル 8F
TEL: 092-262-8705 FAX: 092-262-8706

月島テクニカルセンター: 〒 104-0052 東京都中央区月島 4-16-13 秀和月島ビル 1F
TEL: 03-3531-8711 FAX: 03-3531-8721